



知立市長
林 郁夫

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様方におかれましては、さわやかな平成二十五年の初春をお迎えになられましたことと、心より、お慶び申し上げます。
知立市を、家庭のような家族のような、

また、誇りを持つことができるまちとするため、市長として、引き続き市政を担わせていただきますので、よろしくお願いたします。
本年は、とりわけ、防災対策に力を入れてまいります。
平成七年一月に発生した阪神淡路大震災では、七千名近くの方がお亡くなりになられたのですが、ほとんどの方が、家屋の倒壊や家具の転倒による圧死でありました。
知立市に、大きな地震が発生しても、犠牲者をひとりも出さないよう、家屋の耐震化や家具の転倒防止を促進してまいります。

また、情報伝達のための同報無線や防災ラジオの整備、防災訓練の見直し、更に、災害時に、互いに支援しあうための相互応援協定を、全国、各都道府県ごとに提携していくことを目標に、本年は、福井県鯖江市、そして、富山県魚津市とでこなってまいります。
東日本大震災では、今なお、多くの方々のご苦労されていらつしやいます。
改めて、お見舞いを申し上げますと共に、引き続き、被災地への職員派遣などもおこなってまいります。
本年も、皆様方にとりまして、素晴らしい年になりますよう祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

平成二十五年新年のごあいさつ



知立市議会議員
池田 滋彦

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、平成二十五年の輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年八月の臨時会におきまして議長に就任し、早くも四か月が過ぎ、この間市民の負託に応えるべく活発な議会運営に

努めてまいりました。
さて、昨年の国政においては混迷する中、衆議院解散総選挙が行われました。今後の日本の将来を創る大切な選挙と考えます。
地方分権から地方主権へと進展する今の時代、自己決定、自己責任の範囲が拡大し、地方議会の果たすべき役割はますます重要となつてきております。
このような中、昨年十二月市長選挙と市議補欠選挙がございました。これからは国の動向もありますが、地方は地方でその責務を果たすべく議会として、しっかりとした議論を重ね努力してまいります。
現在、市議会は議会改革特別委員会において、二十四年度四回の議会報告会を

開催し、直接市民の皆様と意見交換を実施しました。
また、「議会基本条例」制定に向け条例作りをしているところであり、今後改革の機運を絶やさず議員定数のあり方などを議論し、公平で公正な開かれた議会を目指してまいります。
今後も二元代表制のもと市民の皆様のご期待に応えられるよう、魅力ある知立市の実現に向けて議員全員で市発展のため全力を傾注してまいります。
本年も市議会に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。市民の皆様にとつて明るい幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。